

戦争紛争”原因判定”電子裁判システム

JUSTICE: 2025/4/12

話し合いで戦争紛争が終結すればこれ以上はない。

原理的に

戦争紛争当事国国民 AB がパソコ通信で参加、

* 当事国認定で外国人 C 証人も可能。

* 両国合意で示談判決もある。

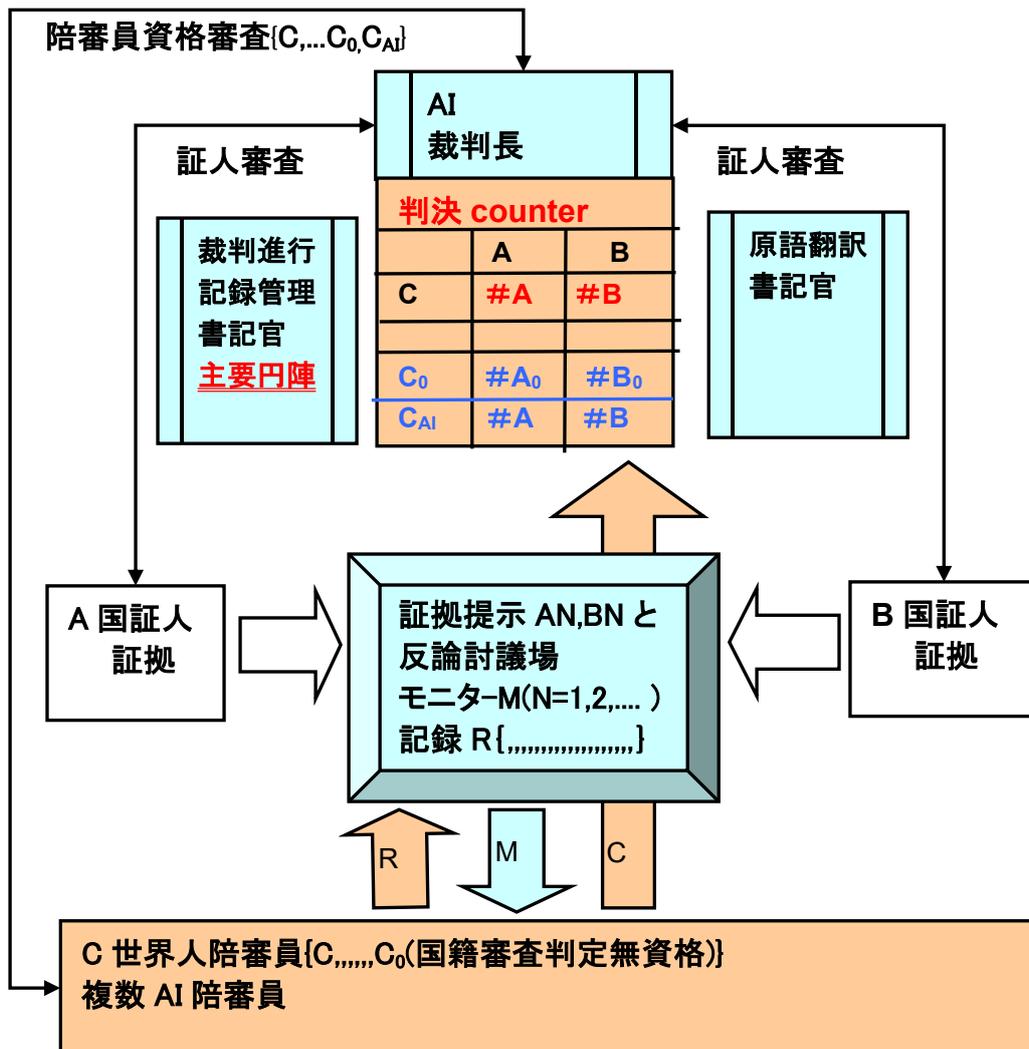
両者が証拠事実提示で真偽を競う。

この会議を世界人陪審員 C が傍聴、証拠毎度に

正否投票権を行使して確度高い**事実判定**結論を出す。



[1]: 概念 Block 図.



[2]: 基本設計 :

① 裁判開始の手続き

(1) 訴状 A 申請と形式審査

訴状 A の被告国 B 広報通知と B 答弁書受理、なき場合は A 勝訴決定

(2) 証人証拠申請と形式審査

A1, A2, A3,

B1, B2, B3,

(3) 陪審員申請と信頼度判定審査と判定投票 Account 付与

当事国 A, B 同数用意の IQ テスト類似推理判定力、政治信条の試験問題審査を遣る。

② 裁判開始と進行管理

(1) A1 証人証拠陳述と B1 反論証人証拠陳述

→ $C_1 = (A1\text{-Yes})$ 判定投票総数, $\overline{C}_1 = (A1\text{-No})$ 判定投票総数,, 投票総数 = $C_1 + \overline{C}_1 = C(1)$

(2) A2 証人証拠陳述と B2 反論証人証拠陳述 → C_2 判定投票

(3)

☞ 問題点 ; 最終判定で判る事だが個々の証拠証言は全体判定で重みが違うだろう、

$\langle C \rangle = \{C_1/(C(1) + C_2/C(2) + \dots + C_N/(C(N)))/N \dots \dots$ 重み無し判定、→ $W_i = 1/N$ (等分配)

$\langle C \rangle = \{W_1 C_1/(C(1) + W_1 C_2/C(2) + \dots + W_N C_N/(C(N)) \dots$ 重み判定、

→ $W_1 + \dots + W_N = 1$ (確率配分)

☞ 問題点 ; 重み評価は全証拠が揃った時点で相対評価になる、どうすれば最適化は判らないが、暫定的に個別 C_k に w_k 投票で重みつけ、

$W_k = w_k / \{w_1 + w_2 + \dots + w_k + \dots + w_N\} \dots \dots$ (確率配分)

③ 結審

(1) 判決カウンタ 90%(9:1)で結審

(2) 90%未満では証人証拠更新で延長戦を遣る。

[3]: 機能設計<事実最終決着闘論マシン!!>

現筆者には専門知識皆無で詳細不明だが、以下が必要なソフト。

(1) 営利 & 寄付金運営の組織団体-企業-国家行政等が管理の誰も使えるクラウド上の

サービスアプリ。世界配信で休延時間に広告も出せる。正義の国の勝利は戦争紛争の不利益を消滅させる正当な利益になる。

(2) 主要エンジンそふと: 裁判進行記録管理書記官機能

(3) 裁判長機能、訴状形式審査、証人証拠形式審査、陪審員審査管理、

(4) 陪審員審査機能・当事国 AB には不当判決につながる可能性陪審員の
事前審査忌避の権利がある。

(5) 原語翻訳書記官機能

付録1 ; AI 業界

IT 業界の会社・企業一覧(全国)

<https://baseconnect.in/companies/category/78861e23-0990-4878-ab2f-09ee9e9c7080>

AI 自体を製品にするな=サム・アルトマン氏からスタートアップへのアドバイス

<https://www.newsweekjapan.jp/yukawa/2024/05/ai-26.php>

ChatGPT とは？なぜ無料？意識はあるの？未来は？について私なりの考えをまとめてみた！

<https://developers.agirobots.com/jp/chatgpt/>

公に無料で公開してフィードバックを得る必要があると考えたのではないかと考えています。
ChatGPT には、従来の GPT とは少し異なり、強化学習が使われており、言語モデルの強化学習には、人間からのフィードバックが必要です.....

出来上がると有料化の恐ろしい未来が..... 基礎 AI 国産緊急開発は必須！！

AI に出来ないことはあるか？！

http://www.777true.net/Something-Impossible-for-AI_Nothing.pdf

万能 AI 建設こそが人類救済緊急事業！！！！

<http://www.777true.net/Jyokoku-Riyuusho-EX-20240503.pdf>

<http://www.777true.net/FLY-BACK-SPC.pdf>

<http://www.777true.net/Yukawa-Lab-3.pdf>

言語処理におけるベクトル化法の一意性

<http://www.777true.net/Uniqueness-of-VECTORIZATION-on-N-Language.pdf>

<http://www.777true.net/Uniqueness-of-Language-Vectorization-by-the-mathematical-structure.pdf>

*この時代に携帯無携帯の貧乏人筆者は AI のアカウント申請ができない、
過去に米素粒子実験装置への米供出金 2000~3000 億円を無用にした政府は
報奨金を早く払ってくれ、借金賠償金返済をせねばならないです。